



Garoon

導入事例

interview for

ネグロス電気株式会社様



NEGROS 株式会社

風通しの良い組織づくりに Garoon を活用。 全社プロジェクトから生まれた グループウェア活用法とは

駅やビル、学校や病院などあらゆる建築物に欠かせない電設資材のメーカーとして、国内トップクラスのシェアを誇るネグロス電気株式会社（以下、ネグロス電気）。同社では2018年に、それまで約13年利用していたグループウェアを、クラウド版 Garoon にリプレイスした。風通しのよい職場づくりに Garoon でのコミュニケーションが貢献している。グループウェア選定・活用プロジェクトの中心メンバーであるネグロス電気 取締役 総務部長 小森功雄氏、情報システム部 部長 杉崎正夫氏、情報システム部 システム二課 課長 平野信泉氏、情報システム部 システム二課 主事 加賀美涼子氏の4名にお話を伺った。



自社開発グループウェアの課題は「社外アクセス」と「メンテナンスコスト」

電気工事に欠かせない電路支持材の総合メーカーであるネグロス電工。特に電線ケーブルの配線で使われる「ケーブルラック(送電用・通信用ケーブル類の配線ルートを確保・整理するラック)」では国内で圧倒的なシェアを誇っており、電気設備業界でなくてはならない企業だ。

「駅のホームで上を向くといろんな配線を支えているハシゴ状のものがあるでしょう。あれが私どもの製品です。駅だけではありません。商業ビル、工場、病院、学校など、電気配線が必要なあらゆる場所でネグロス電工の製品が使われています。みなさんが知っている建物にもなんらかの形で関わっていると思いますよ」(取締役 総務部長 小森氏)

あらゆる建築物を緑の下で支えるネグロス電工だが、社内の情報共有に利用していたグループウェアに課題があった。

「以前のグループウェアは 13 年前に自社開発したものでした。スケジュール、掲示板、社内メール、電話メモなど一通りの機能はそろっていましたが、社外アクセスができないので、営業など外出が多い社員には使いづらかったんです。またブラウザのバージョン対応などメンテナンス工数もかかっていました。社内の SE には今後基幹系システムの方に注力して欲しい思いもあったので、なるべく管理の手間を減らしたいと思っていました。」(情報システム部 部長 杉崎氏)

自社開発のグループウェアは細かい要望に対応できるメリットがあったものの、社外から利用できない点と管理コストが課題になっていた。そこで同社では 2017 年にクラウド型グループウェアへの移行プロジェクトを発足。全社で検討を開始した。



小森 功雄氏

取締役 総務部長



杉崎 正夫氏

情報システム部 部長

導入前の課題



社外アクセスができない



管理コストがかかる

導入の決め手 100人で製品テストを実施。 操作性や拡張性を総合的に評価

グループウェア導入プロジェクトでは各本部から代表者を集め、全社横断のチームを立ち上げた。

「情報システム部だけで進めてしまうとユーザーの考えや思いが伝わりにくくなってしまいますので、各本部から人を集めてプロジェクトを組み、要件の洗い出しから製品選定まで全員で進めました。部署横断のプロジェクトということで取締役の小森にリーダーになってもらいました」（システム二課 課長 平野氏）

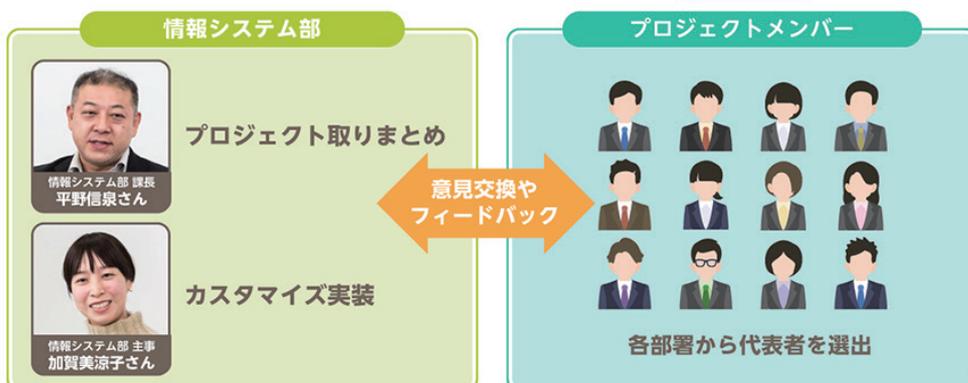
ネグロス電工のグループウェア導入・運用プロジェクト体制

※一部簡略化しています

現場の意見を尊重しながらプロジェクトを支援



取締役 総務部長
小森功雄さん



- すべての部署の代表者が参加して意見を出し合う
- 多数決だけでなく話し合いを重ねて決める

プロジェクトメンバーは12人。クラウド型のグループウェアを3社検討した。当初の課題だった「社外アクセス」「管理の手間の削減」はクラウドにすることでいずれもクリアできたが、製品選定の議論はかなり紛糾した。

「部門によって重視する機能やポイントが違っていたので、意見が大きく分かれてきました。最初にプロジェクトメンバーで製品投票した時は、2製品で半々に票数が分かれてきました。投票後は各本部で使用感をテストし詳細に検討を重ねました」（加賀美氏）

製品テストはプロジェクトメンバー以外の社員も加わり、社員1200人中総勢100人で実施した。

「各アプリでテスト項目を決めて実際に社員のみなさんに操作してもらいました。例えば『掲示板に投稿する』『それに対してコメントする』など各アプリ3、4項目ずつ設定しました。デザイン面や画面遷移の回数も含めてかなり慎重に吟味したと思います」（加賀美氏）

テスト後に一人ひとりの意見をリストアップして再度議論し、2017年の8月にGaroonの導入が決定した。選定の決め手になった一つのポイントは「双方向のコミュニケーション」だった。

「例えばGaroonの掲示板では、掲示に対して他の社員がコメントできますよね。一方通行ではなく双方向のコミュニケーションができる点が、私たちの会社に合っていると思いました。そのほか機能やデザインも従来のグループウェア環境を踏襲していたので使いやすいだろうと。操作性や使い勝手の良さ、将来的な拡張性を評価しGaroonの導入が決まりました」（平野氏）

Garoon 導入の決め手



「Garoonのおかげで 風通しがよくなった」 会社の風土づくりに貢献

「セキュアアクセス」で安全に社外アクセス。「スケジュール」から利用を開始。

2018年2月からクラウド版 Garoon の運用を開始したネグロス電工。クライアント証明書によって接続元を認証する「セキュアアクセスオプション」の利用で、社外からも安全にアクセスできるようになった。

「レスポンスは確実に早くなったと思います。意思決定のスピードが格段に上がりました」（平野氏）

またバージョンアップやブラウザ対応などはすべてサイボウズが対応するため、保守メンテナンスの手間も大幅に削減。これによって情報システム部のメンバーは、機能の活用だけに集中できるようになった。導入後は、まずスケジュールなどの基本機能から使い始めた。

「スケジュールは全員、原則公開設定で入力しています。社長のスケジュールも半分以上が公開されていて、予定が空いていれば誰でも自由に登録できます。社長の予定を入れるときは出欠管理を ON にしておいて、社長が OK の場合は『出席』で回答するルールにしています」



平野 信泉氏

情報システム部 システム二課 課長

社長のスケジュールはポータルで公開。時間が空いていれば誰でも登録して良い。対応の可否は出欠管理機能で行う。

【社長行動予定 予約マニュアル】

【注意事項】

- 1.参加者には自分と社名をいれてください。
- 2.必ず出欠確認のチェックをいれてください。

スケジュール (月表示)

2019/04

日	月	火	水	木	金	土
3/31	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6
	08:30-09:00 予定あり 14:00-15:00 予定あり 19:00-21:00 予定あり	08:30-09:00 予定あり 10:00-12:00 15:00-16:00 19:00-22:00 予定あり	08:30-09:00 予定あり 09:00-09:30 10:00-13:00 予定あり 14:00-14:30	08:30-09:00 予定あり 15:00-22:00	08:30-09:00 予定あり 10:00-11:30 13:00-14:00 予定あり 16:00-17:30	
4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13
	08:30-09:00 予定あり 16:00-17:00 19:00-21:00 予定あり	08:30-09:00 予定あり 09:30-13:10 予定あり 19:00-22:00 予定あり	08:30-09:00 予定あり 09:00-12:00 13:00-15:00 予定あり	08:30-09:00 予定あり 09:00-10:30 10:30-12:00 予定あり 12:00-04/13 (土)	04/11 (木) -04/13 (土)	04/11 (木) -18:00

旧グループウェアでは他人のスケジュールは閲覧も登録もできなかったため、電話やメールで日程調整をしていた。Garoon では自分以外の予定が閲覧・登録できるようになり大きく効率化できたようだ。

「電話やメールで相手の予定を確認する手間がなくなり、だいぶ楽になりました。Garoon のスケジュールを見ればいつ空いているかわかりますし、相手の予定も登録できます。またちょっとしたやりとりはコメントで行えるところも効率化につながっていると思います」

ポータルもいくつか作成した。コンプライアンス情報をまとめた「コンプラ通信」、安全衛生や BCP 関連の情報をまとめた「安全衛生・BCP」、会社の歴史をまとめた「博識館」などがある。標準ポートレットと HTML ポートレットを組み合わせで作成した。



加賀美 涼子氏

情報システム部 システム二課 主事

G Garoon 19 製品内を検索

ポータル 電子会議室 リンク集 スケジュール 施設予約 メッセージ 掲示板 ファイル管理 メモ 電話メモ ToDoリスト アドレス帳 メール ワークフロー マルチレポート お気に入り 通知一覧

ポータル 社長行動予定 安全衛生・BCP **コンプラ通信** ワークフロー案内 業務システム ねぐたいむ 人材支援室 博識館

【次月号】ねぐたいむ Tips! 【テスト】ワークフロー案内 【R】貸出機 情報システム

2019年4月号

コンプライアンスあるある



■あるある

仕事でついやってしまいがちな「あるある」事例の紹介

■コメント

コンプライアンス担当者による解説(どのような点がコンプライアンス違反なのか、どういうことに気をつければいいのかなど)

コンプライアンスニュース

■ 4月10日付 第100号「あるある」事例

実際にあったコンプライアンス違反事例(他社事例)の紹介

(コメント)

コンプライアンス担当者による解説
(どのようにしてこのような事件が発生するのか、どうすれば防げるかなど)

安全衛生に関する情報を「安全衛生・BCP」ポータルで紹介

The screenshot displays the Garoon portal interface. At the top, there is a navigation bar with the Garoon logo and a search bar. Below this is a row of icons for various functions: ポータル, 電子会議室, リンク集, スケジュール, 施設予約, メッセージ, 掲示板, ファイル管理, メモ, 電話メモ, ToDoリスト, アドレス帳, メール, ワークフロー, マルチレポート, お気に入り, and 通知一覧. The main content area is divided into several sections. The top section is titled '安全衛生・BCP' and includes a sub-section '作業安全報告システム'. Below this are two columns of content. The left column has a green header '安全衛生おしらせ' and a red header '安全衛生ニュース'. The right column has a red header 'BCPお知らせ' and a red header 'BCPニュース'. The main content area is divided into two large panels. The left panel contains the following text: 「火災予防週間」や「交通安全週間」など、全国的な安全衛生キャンペーンの告知; 今月の重点目標; 今月特に気をつけるべきこと. The right panel contains the following text: BCP委員会からの告知; BCP委員会の紹介や組織構成など.

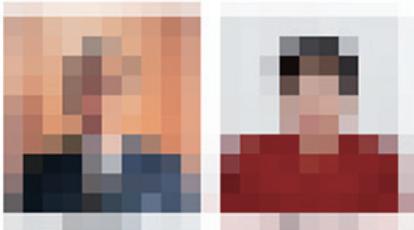
博識館とは

博識館は、ネグロス社員向けに制作したツールです。
 創業の精神や会社概要など、ネグロスの基本から、ネグロス製品がどんなところで、どのように使われているかがわかるように建築現場の施工写真(探検隊)を見ることができます。
 新人教育のツールとして、あるいは、日常の疑問解消のツールとしてネグロスの知恵袋として活用できるよう制作したものです。【問い合わせ先：営業管理部】

history

[創業者 菅谷政夫] [1940-1959] [1960-1969] [1970-1979] [1980-1989] [1990-1999] [2000-2009] [2010-2019] [CLOSE]

創業の精神



今から四十一年前の昭和十九年十一月から二十年九月、私はフィリピンのネグロス島の戦場に在りました。
 間断ない米軍の猛攻をうけて絶望の淵に立たされ、たむむれに「起きて苦勞はいうまでもない、寝ても苦勞する島じやもの」と詠みましたが、それは苦勞などという生易しいものではありません。
 敵の機銃にはちの果の如く打ち抜かれた兵、負傷や熱発で独歩不能となり自決する兵、尻穴から血便をたれ流して倒れている兵、栄養失調でビール桶のようにふくらんで動けない兵、銃死線上をさまよってふらふらの兵、私もいつときアメリカ赤痢で血便をたれ、マラリアやデング熱でうごけなくなった時もありました。兵隊はみなこの体験を味わっているのです。
 この様な極限状況下に在りながらも戦場の合間、ふところから一枚の写真を眺めて、故郷を思い親を思い、妻子を思いながらネグロスの土となった戦友を想えば、生きて日本の土を踏めたわが身の何と幸せなことか。
 敗れたりとは言え、国のために散って逝った戦友を偲ぶとき、どうして自分だけじゃければの利己主義でよいでしょうか。
 少しでも世のため人のために尽くすことが私の務めであると決意し、ネグロスの名を冠して、良い品をつくりお客様に喜んでいただく、このことがわが社の利他主義であり、創業の精神であり、原点であります。

社名の由来



「ネグロス」という珍しい社名には、どなたも奇異な感じを受け、好奇心をもたれると思われまふ。
 この社名の由来について一言、説明させていただきます。
 創業者である、故菅谷政夫は第二次世界大戦のおり、一兵士として召集され、フィリピンのネグロス島で戦いました。
 昭和二十年三月、物量を誇る優勢な米軍上陸によって武器、弾薬のない日本軍は肉弾で応戦しながら次第に山中へ追いやられ、加えて飢餓と伝染病によって約半数が戦没しました。
 その悲惨さは筆舌に尽せないものであったようです。
 創業者は国のために散って逝った戦友の苦勞を偲び、「無にしてはならない」との思いから、亡き戦友の分まで働き、良い製品をつくり、お客様に喜んでいただくこと(利他主義)が自分の務めであることを決意し、社名にネグロ

「運用プロジェクト」でポータルを活用をさらに推進

導入から4ヶ月ほど経った2018年の6月ごろ、平野氏と加賀美氏が中心となって「Garoon 運用プロジェクト」を立ち上げた。

「もっと Garoon を使いこなそうと新たにプロジェクトを立ち上げました。導入のときと同じように、ユーザーの声を聞きながら進めたかったので全社横断のプロジェクトにさせていただきました。活用を考えるプロジェクトなので、普段から実務をやっている若い社員の意見を聞いた方が良いだろうと、メンバーも一新しました」（平野氏）

各部から22人のメンバーが集まった運用プロジェクト。導入プロジェクトの時に比べると平均年齢は10歳くらい若返ったそうだ。

「まずそれぞれの部でアンケートを取ってもらって、現状どのような問題点があるか、業務効率を上げるために何ができるかを話し合いました。そこで出た意見を集約して3つのテーマを決めました。それが『社内コミュニティ』『社内ヘルプサイト』『ワークフローの推進』です」（加賀美氏）

3つのテーマを実現するために利用したのがGaroonのポータルだ。まず「社内コミュニティ」については「ねぐたいむ」というポータルを作成し、毎月更新することにした。社長訓話や部活紹介、その月に入社した社員紹介が掲載されている、言ってみれば電子版の社内報だ。

「会社についてもっと知ってもらいたい」という思いから「ねぐたいむ」ポータルを作成。
社内の人や組織などを紹介した記事を毎月更新している。

Garoon 製品内を検索

ポータル 電子会議室 リンク集 スケジュール 施設予約 メッセージ 掲示板 ファイル管理 メモ 電話メモ ToDoリスト アドレス帳 メール ワークフロー マルチレポート お気に入り 通知一覧

ポータル 社長行動予定 安全衛生・BCP コンプラ通信 ワークフロー案内 業務システム **ねぐたいむ** 人材支援室 年末調整 博識館

[次月号] ねぐたいむ Tips! [テスト] ワークフロー案内 AI-Q画面確認ポータル [R] 貸出機 情報システム

2019年3月号

社長訓話



※アクセスが集中すると再生までに時間がかかることがあります。

クラブ活動紹介

現在、活動中のクラブを紹介します！
新しくクラブを立ち上げることもできます。
この機会に、仕事以外の交流も広げてみませんか？

クラブ活動規程です。詳細はこちらをご覧ください。
ファイル管理 規則・規程より 17 クラブ活動管理規程

クラブ名：硬式テニス部

リーダー： 部 課

部員数：20名

活動地域：東京都江戸川区 水辺のスポーツガーデン
千葉県千葉市 美浜テニスガーデン
千葉県市川市 南市川テニスガーデン

技術部と近隣部署のメンバーで平日の仕事終わりや休日にテニスをしています。
社会人から始めた初中級レベルが中心となります。
定期練習、公式大会への参加、他団体との交流戦を行い、社内外で親睦を深めています。

①場所：足立区舎人公園テニスコート

部との交流戦での集合写真



②ナイター練習会

左から 部： さん、 部： さん、 部： 部長、 部： 課長



③江戸川区民大会

部： 課長のサブ



④江戸川区民大会

手前コート左から 部： さん、 部： さん



⑤2018年江戸川区民大会 優勝

部： 部



「主に入社 3-5 年目の社員をターゲットに発信しています。現在ネグロス電工には 1200 人ほど社員がいますが、どんな部や部活があるのか知らない人が多いんです。勤務している営業所や工場が違うとなかなかつながりがないので。ねぐたいむを使って社内の情報を発信することで『自分の会社はこういう会社なんだ』と知って欲しいと思っています」(平野氏)

ねぐたいむは HTML ポートレットを使って作成している。写真や紹介用のコメントを毎月社内から集め、加賀美氏が HTML や JavaScript を駆使し、見栄えを整えている。このように会社の情報を発信する活動を取締役の小森氏も歓迎している。

「非常に好ましい活動だと思います。我々のような社歴が長い社員はネグロス電工の良さは体にしみついています。若い世代は他社と比較して『うちの会社どうなんだろう?』と考える人もいます。やはり自分の会社が好きでないと良い仕事はできませんよね。Garoon を使って社内に情報発信することで『うちの会社ってこんな良いところがあるんだな』と思う人が増えていけば、仕事の方向にも良い方向に向かって行くと思います」(小森氏)

2 つ目の「社内ヘルプサイト」もポータルで作成中だ。単なる機能の説明ではなく「ユーザーがやりたいこと」をベースにしたヘルプサイトを目指している。

「活用術」ポータルでよくある質問をまとめることで、Garoonの利用促進につなげている

The screenshot shows the Garoon portal interface. At the top, there is a navigation bar with the Garoon logo and various icons for different functions like '電子会議室', 'リンク集', 'スケジュール', etc. Below the navigation bar, there are several tabs for different sections, including '活用術' (Usage Tips) and 'Myポータル作成' (My Portal Creation). The '活用術' section contains a list of tips for using various features, such as 'テキスト出力を使って、メッセージ転送 (メッセージ)', '振り分け機能でメッセージ管理 (メッセージ)', and '宛先指定で簡単宛名通知 (メッセージ、電子会議室など)'. The 'Myポータル作成' section contains information about creating a My Portal, including 'Myポータルってなに? Myポータルで業務効率UP!' and 'Myグループのスケジュールポータル'.

「例えば『メッセージを転送したい時はどうしたらいいか?』などの具体的なシーン別に解決方法を載せています。旧グループウェアでは社内の連絡を『社内メール』で行なっていましたが Garoon では『メッセージ』を使います。『メッセージ』はメールと考え方が違うので、転送機能がなかったり CC や BCC の概念がなかったりと違いがあり、ユーザーが戸惑うことがあります。そういった困りごとに対して、『メッセージを転送したいときは、テキストに出力してから新規メッセージに貼り付けをしてください』などの案内を載せています」(平野氏)

3 つ目の「ワークフローの活用推進」については、ワークフロー化に適した業務を見つけるための診断チャート、各種申請へのリンク集をまとめたポータルを作成している。ここをみれば「自分の業務の中で電子化できるものはないか?」とユーザー自身が考えることができる。「もっと Garoon のワークフローをみなさんが使ってください」といいなと思っています」と加賀美氏は話す。

Garoon

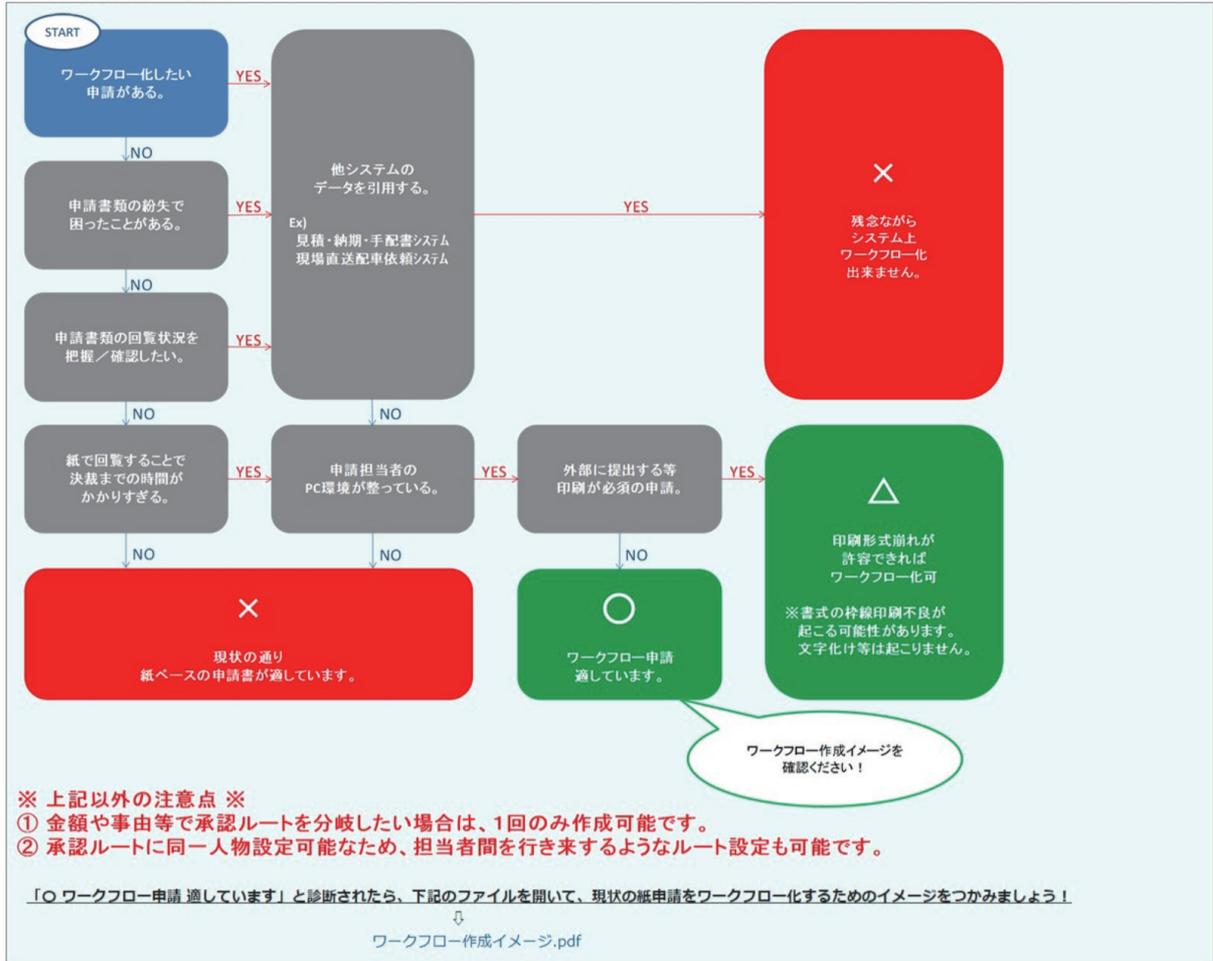
ポータル 電子会議室 リンク集 スケジュール 施設予約 メッセージ 掲示板 ファイル管理 メモ 電話メモ ToDoリスト アドレス帳 メール ワークフロー マルチレポート お気に入り 通知一覧

ポータル 社長行動予定 安全衛生・BCP コンプラ通信 ワークフロー案内 業務システム ねぐたいむ 人材支援室 博識館

[次月号] ねぐたいむ Tips! [テスト] ワークフロー案内 [R] 貸出機 情報システム

ワークフロー化について

「いまの紙の申請をワークフロー化できるか?」「ワークフローに向いているのか?」など、チャートで簡単に調べることができます。診断をしてみましょう。
⇒ ワークフロー診断チャート



用度品の発注先は？

用度品の発注先が分からない場合は、下記の一覧から用度品を選択してください。部署名をクリックすると、各発注先のワークフロー画面へ遷移します。
⇒ 用度品の一覧

<p>稟議申請</p> <p>甲稟議</p> <p>乙稟議</p> <p>丙稟議</p> <p>重要案件稟議</p> <p>【稟議フロー申請マニュアル】</p> <p>【稟議決裁基準】 【稟議規程】</p> <p>【稟議書 書式】</p> <p>設備・営繕 稟議</p> <p>【設備営繕事前調整概要】</p> <p>【設備営繕電子会議室】</p>	<p>営業本部</p> <p>営業本部帳票発送</p> <p>クレーム・トラブル発生報告</p> <p>クレーム・トラブル発生報告一覧（閲覧権限あり）</p> <p>規定外値引申請</p>	<p>財務部</p> <p>受注伝票・A4納品書・インクカートリッジほか</p> <p>【NEEDS】商品マスタ 提供依頼</p> <p>【NEEDS】納期回答FAX送信マスタ依頼</p> <p>【FAX送信マスタ依頼添付_御確認書】</p> <p>JANコードマスタ 提供依頼</p> <p>【NEEDS】配達値引マスタ登録依頼</p> <p>【NEEDS】営業仕入準備 修正依頼</p>
	<p>技術部</p> <p>輸出貿易管理令に関する資料作成依頼</p> <p>環境負荷物質含有関係資料・作成依頼</p> <p>図面作成依頼</p> <p>※技術管理課専用（標準品のみで対応できる場合）</p>	<p>商品企画課</p> <p>らくてい（アイデア提案）</p>

ワークフローについては運用プロジェクトが立ち上がる前から活用している業務もあった。

「稟議申請や、各部署への依頼申請（システム開発依頼やパソコン・ソフトウェア導入申請）など、導入時に紙ベースだった申請をいくつかワークフロー化しました。旧グループウェアですでに電子化していた申請も Garoon のワークフローに移行しました。社外からも利用できるもので以前よりも申請から承認のスピードは早くなりました」（平野氏）

社内の依頼や申請にワークフローを利用することで、意思決定のスピードが上がった

The screenshot shows the Garoon application interface. At the top, there is a navigation bar with the Garoon logo and various icons for different functions like calendar, messages, and documents. Below this, a breadcrumb trail indicates the current location: 'ワークフロー > 申請の作成(申請フォームの選択)'. The main content area is titled '申請の作成(申請フォームの選択)' and features a progress bar with four steps: '申請フォームの選択' (selected), '内容の入力', '経路の設定', and '内容の確認'. Below the progress bar, there is a list of application forms to choose from, categorized under '情報システム部'. The categories include: 'ユーザーアカウント申請' (User account application), 'インターネット・外部メール利用申請' (Internet/External email usage application), '業務依頼' (Business request), 'iPhoneアプリ追加依頼' (iPhone app addition request), 'システム開発・改善依頼' (System development/improvement request), '外部接続及び内蔵装置PC申請' (External connection and built-in device PC application), and 'ネグロスHP依頼' (Negros HP request).

社内コミュニケーションは「メッセージ」「スペース」「掲示板」に集約

「運用プロジェクト」を通して Garoon の活用が大きく進んだネグロス電工。プロジェクトのやりとりを含め、社内のコミュニケーションはメッセージ、スペース、掲示板を使い分けている。

「プロジェクトのように長く続くものはスペース、単発で終わるちょっとしたやりとりはメッセージ、全社に向けてのお知らせは掲示板、と使い分けています。スペースは 100 以上ありますね。用途は特に制限していません。部活や社員同士の旅行などのコミュニケーションにも利用されています」（平野氏）

Garoon
製品内を検索

ポータル 電子会議室 リンク集 スケジュール 短説予約 メッセージ 掲示板 ファイル管理 メモ 電送メモ ToDoリスト アドレス帳 メール ワークフロー マルチレポート お気に入り 通知一覧

すべてのスペース > プロジェクト・委員会 > Garoon運用プロジェクト (非公開)

メンバー: 17人

ディスカッション 共有ToDo

★ Garoon運用プロジェクトメンバーへ
フォロー中

宛先指定
 テキスト
 書式編集

My ToDo | All ToDo | ファイル

コメントの入力

書き込む

先頭へ | <<前の 100 件へ | 次の 100 件へ>>

11: 2019年01月23日 (水) 12:01

お疲れ様です。
ねぐたいむ 2月号の社員紹介に載せるメッセージの連絡をお待ちしております。
宜しくお願いします。

返信する

10: 2019年01月15日 (火) 10:37

先程はお忙しい中、お集まり頂きありがとうございました。
スムーズに写真撮影できました。ご協力ありがとうございました。
画像の準備ができましたら、〇〇さんより「ねぐたいむ次月号」に反映して頂きます。

ねぐたいむ 2月号の社員紹介に載せるメッセージについて連絡します。
文字数 : 60文字以内
少し長くなって大丈夫です。
(プライベートでも仕事でもどちらの内容でもOK)
提出方法: ガルーンのメッセージでポータルグループメンバーへお送りください。
提出期日: 1/21 (月) 17:30

宜しくお願いします。

返信する 全員に返信する 固定リンク

9: 2019年01月10日 (木) 10:59

各位

皆様の協力のおかげで、無事にねぐたいむを公開することが出来ました。
ありがとうございました。

返信する

8: 2018年12月25日 (火) 15:04

各位

ワークフロー回答でそろいました。期日以内に全員から回答がそろいました。
みなさんご協力ありがとうございます！

ワークフロー意見頂いたものをひとつずつ確認しました。
赤字が返事となります。

- 取締役より
余白の大きさとその色(白色)及び文字のフォントと色使いです。
もう少し工夫(背景や文字使いに遊び心)があっても良い様な気がしました。
→見せ方、意見を参考にさせていただきます。
- 秋元さんより
会社貸与iphoneにて閲覧時、レイアウト崩れ有。
→〇〇さん対応済み、ご指摘ありがとうございました。
私が会社スマホを持っていないので確認しておらず、気付いて頂き助かりました。
- 〇〇さんより
欲を言えば即活動紹介の写真、集合写真が拡大出来れば良いな
と思います。(顔が全然見えないので)
→7.にて回答します。
- 〇〇さんより
①即活動紹介
もしメンバー募集中であればその旨記載してみてもいいかもしれません。
直近の活動内容もあるとり紹介として実のあるものになると思います。
→6.にて回答します。

②イベント紹介
事後の内容紹介も良いと思いますが、これから行方イベントの紹介と参加者の募集などもあるとより良くなるかなと思います。
もしくは事後のイベントで定期開催、次回開催が決定しているものは次回開催月を記載する等、その活動に発展性が持たせられればと思います。
→参加者募集等の内容によっては、先にあげていきたいと思っています。
3月掲載予定のイベント紹介: 未来思考コンテストでは事前紹介になるかと思っています。

旧グループウェアでは、社内コミュニケーションに「社内メール」を利用していたが、スペース、メッセージや掲示板やりとりをするようになったことで、社員同士がより気軽に連絡を取り合えるようになった。

「『あの件メッセージ送るので』『スペースに載せますね』といったやりとりは日常的に聞こえるようになりました。人と人の繋がりは多くなったように思います。メールだとどうしても硬くなりますが、気軽に、チャットのような感覚で使えています」(平野氏)

運用プロジェクトの活動や Garoon の利用を通じて、社内の雰囲気の変化を小森氏は感じているという。

「以前よりも風通しが良くなったことは間違いありません。以前は何かを変えたい、効率化したいと思ってもそれを実現する方法がなかったんです。でも Garoon の運用プロジェクトを通じて、自分の意見が会社に反映されるのを見ると、こういうやり方があるんだと気づいてもっと協力しようという気持ちになります。良い方向に向かっていると思いますよ」(平野氏)

Garoon の運用効果

- ❗ 「ねぐたいむ」ポータルで情報発信を開始したことで
若手社員の会社への理解が深まった
- ❗ 現場社員主導のプロジェクトにしたことで
現場からの改善提案がしやすくなった
- ❗ スペースやメッセージで社内のコミュニケーションが活発になり
会社の風通しが良くなった

今後の展望 社員同士が気軽に コミュニケーションをとれる環境を Garoon で作りたい

導入から運用まで全社プロジェクトとして推進してきたネグロス電工。今後は社外アクセスの利用を広げ、より多様な働き方に対応したいと小森氏は話す。

「現在、社外から Garoon にアクセスできるのは営業など一部の社員のみですが、今後は他の社員にも利用を広げたいと思っています。在宅勤務ができれば通勤にかけていた時間を有効活用できますし、交通費も節約できます。社員のさまざまな事情、ライフプランにも対応しやすくなるでしょう。社内の IT 化をもっと進めて多様な働き方が実現できるようにしたいと思っています」(小森氏)

運用プロジェクトは 2019 年の夏に一旦解散を予定しているが、その後は委員会として新たなスタートを切るそうだ。

「こういうツールは入れた後が大事なんですよね。フォローしないと使われなくなってしまいます。運用プロジェクトでは若い世代が意見を出し合って進めてくれて、社内のコミュニケーション基盤になっています。ぜひ今後も委員会としてこの活動を続けてもらいたいと思っています。ポータルの管理も今は加賀美一人体制ですが今後は増員する予定です」(杉崎氏)

今後は Garoon を社内のコミュニケーションの場として育てていきたいと平野氏は話す。

「今までのグループウェアはただの情報発信、ただの連絡、ただの資料格納ツールでしたが、Garoon では双方向のやり取りの場があるのが非常に良いと思っています。Garoon を使って社員同士がどんどんコミュニケーションをとってより活発な意見を出せる会社になればと思っています。他愛のない話でもいいので社員同士がつながるきっかけになればと思っています」(平野氏)



左から 杉崎氏 加賀美氏 小森氏 平野氏

ネグロス電気様のグループウェア導入プロジェクトについての
詳しい記事はこちら